
ホワイトスペースと地域ICT人材（はまぞう）で実現する
浜松ユビキタスタウン事業

2011年2月4日

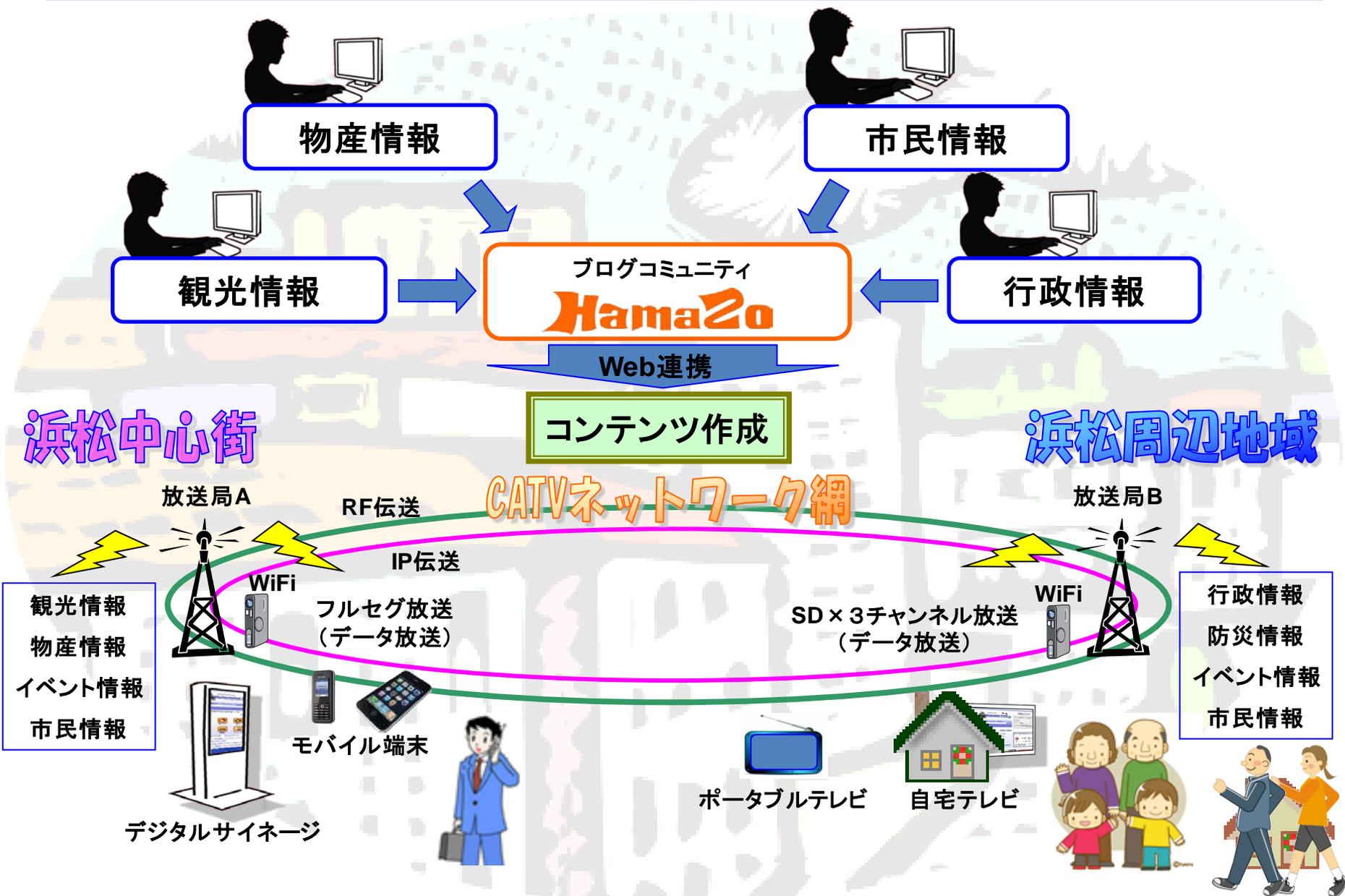
株式会社シーポイント
NPO法人浜松ソフト産業協会
国立大学法人静岡大学工学部

ホワイトスペースでの提案

市街地の賑わい復活と新しい地域コミュニティー構築

- デジタルサイネージによる地域観光・物産情報の発信
 - ①観光・来訪者向けにデジタルサイネージでハイビジョン、タッチパネルで情報提供
 - ②地域雇用ICT絆プロジェクト「**はままつマッチングクラウド事業(観光編)**」と連携
- CATV網利用によるSD:標準画質(4セグ相当)×3チャンネル伝送にて多様な情報の発信
 - ①災害、医療、福祉など行政情報の周知
 - ②高齢者・主婦などがいきいき暮らしていく為の、健康、趣味、お買い物情報
 - ③観光、物産、グルメなど地域の特徴を生かした広告・宣伝
 - ※高齢者などパソコンに不慣れな方へ身近なテレビでの情報提供
- データ放送によるweb情報の発信(web/データ放送連携)
 - ①はまぞうブログから入力した市民・企業の情報をデータ放送で提供する
お祭り、お花見、小学校の運動会、朝市... etc

サービスイメージ



提供体制



期待される効果

- 地域コミュニケーションの活発化

ホワイトスペース利用放送により、ITに不慣れな人にも広く情報の共有化が可能となる。また、市民が意見や提案など情報を発信することにより、さらに身近な情報として配信され、地域のコミュニティとして機能することが期待できる。

- 地域産業への経済波及効果

ソフトおよびコンテンツに関して、浜松地域を中心に活動する地域ICT人材(ブロガー)や企業と連携しながら製作し、直接的には協力者、協力企業への経済波及効果が見込まれる。

地域コミュニティとして活性化されれば、商業者や周辺観光地などへの経済波及効果も期待できる。

- CATV事業の発展

CATV施設の有効利用が計られるホワイトスペース利用により、放送の利用範囲が広がり、事業の発展も期待できる。

検討すべき課題

- 微弱電波でも受信可能なモバイル型アンテナ & チューナーの開発と普及
- チャンネルID / リモコン番号の取得
- 送信局の免許取得
- 地域インフラの整備
- Webより発信される市民情報のフィルタリング